

連載

21世紀にふさわしい経済学を求めて

第24回

桑垣豊

(NPO 法人市民学研究室・特任研究員)

【これまでの連載(掲載ページへのリンク)】

[第1回](#) [第2回](#) [第3回](#) [第4回](#) [第5回](#) [第6回](#) [第7回](#) [第8回](#) [第9回](#)
[第10回](#) [第11回](#) [第12回](#) [第13回](#) [第14回](#) [第15回](#) [第16回](#) [第17回](#) [第18回](#)
[第19回](#) [第20回](#) [第21回](#) [第22回](#) [第23回](#)

第1章 経済学はどのような学問であるべきか (第1回)
第2章 需給ギャップの経済学 保存則と因果律 (第2回と第3回)
第3章 需要不足の原因とその対策 (第4回と第5回)
第4章 供給不足の原因と対策 (第6回と第7回) 番外編 経済問答その1
第5章 金融と外国為替市場 (第8回と第9回)
第6章 物価変動と需給ギャップ(第10回)
第7章 市場メカニズム 基礎編(第11回と第12回)
第8章 市場メカニズム 応用編(第13回と第14回) 番外編 経済問答その2
第9章 労働と賃金(第15回)
第10章 経済政策と制御理論(第16回)
第11章 経済活動の起原(第17回と第19回)
番外編 経済問答その3(第18回)
第12章 需要不足の日本経済史(第20回と第21回)
第13章 産業関連分析

第14章 武器取引とマクロ経済

近年、日本政府は軍事同盟を結んでいるアメリカ以外への武器輸出を解禁した。実際には、オーストラリアへの軍事用潜水艦の受注に失敗するなど、実績はゼロである。アメリカへの輸出にしても、微々たるものであった。ところが、このほど航空自衛隊の次期主力戦闘機を、イギリス、イタリアと共同開発することを決め、この2国以外の第3国にも輸出できるようにした。第2次世界大戦後、先進国で唯一ほとんど武器を輸出しなかった日本が、「死の商人」に名を連ねることになるのか。

しかし、その前に世界の武器取引の実態は、どうなっているのだろうか。軍事・民生どちらにも使える部品や工作機械は、どう位置づければいいのか。また、各国マクロ経済の中で、武器生産、軍事費がどのような位置をしめているのだろうか。この章では、だれでも手に入れることができる軍事、経済データから様々な指標を算出して考察し、実態にせまる。

なお、今回の内容は、2024年3月に進化経済学会・福井大会で発表したものを再編集した。



古代の防衛拠点「安宅（あたか）の関」は、現代の航空自衛隊小松基地（石川県）に隣接しています。古代・中世の北陸道は、今の小松市内を通らず海岸沿いを通っていました。平安時代末期に題材をとった能「安宅」、歌舞伎「勸進帳」の舞台は、古代・中世北陸道の「安宅の関」です。港もあり物流拠点でした。今は、軍民共用の小松空港が、関に隣接する海岸砂丘上にあります。

将来、国際共同開発した戦闘機が、安宅の関上空を飛ぶのでしょうか。

写真「安宅の関」の松原の上を飛ぶ自衛隊戦闘機 2023年12月撮影

14-1 武器生産の特徴

1) 武器生産のマクロ経済的特徴

武器生産は、耐久品が多いので投資（資産）になるが、生産設備ではない。そういう意味では生産設備過剰の不況期には、需要を増やして設備稼働率を上げて景気対策（有効需要）になる。それに対して、生産設備を増やす投資は、設備稼働率が落ちているときはさらに遊休設備を増やして不況を深刻化する。経済学では、この区別をすることなく設備稼働率を上げるとすることが多い。注意が必要である。

武器のうち弾薬などの消耗品は、もちろん有効需要である。生産力不足になやむ途上国にとっては、貧しさの原因になる。需要不足の先進国も、自国が戦場になると景気がよくなると喜んでいる場合ではなくなる。生産設備破壊は供給不足を招く。武器生産は生産能力にはならないが、個人に直接の効用がないという意味では、設備投資と同様である。

2) 軍事と産業の関係

軍事と産業の関係で以下のように分類できる。軍事と民生の中間に、軍事と関連の深い住民監視や世論操作技術がある。技術や産業はいろいろな社会問題を引き起こすが、その中で「住民監視・世論操作技術」は軍事と関連するものとして、軍事の問題と一緒にとりあげるべき問題だと考える。既存の議論に対して、新たに[B] [C]を加えた。そして、[D]であっても軍事と無関係とは言えない。

〔A〕軍事産業

武器や軍事関連サービスなどを直接提供している産業。ほとんどが軍事にしか使えないものをあつかう産業も含める。

〔B〕軍事関連製造業

部品・中間製品納入は、民生品と共通のことも多い。軍事産業と言うには無理があり、最近のことはでいうとデュアルユースである。工作機械メーカーは、その中で超精密加工ができる産業が最先端の兵器や部品をつくることができる。コスト度外視の軍事費でこそ成り立つと言えるかも知れない。超精密加工技術は、医療機器、半導体生産とも通じる。ヨーロッパ各国は、ドイツを除いて製造業が衰退しているが、軍事産業を維持して国際収支を支えているが、軍事技術の民間転換は簡単ではない。

日本は民生用の精密工作機械では、世界のトップグループに入るが、超精密工作機械では欧米には追いついていない。技術面だけ考えても、今さら、軍事技術の世界で競争できるかあやしい。

〔C〕情報産業

情報産業の軍事部門への参入が著しいが、製造業を中心とする既存産業以上にデュアルユースである。武器製造設備は民生転換がむずかしいが、情報産業はもともと共通の装置やサービスが多く区別ができない。民間のために開発した技術が、容易に軍事転換できるものが多い。逆もしかり。新たなデュアルユース問題を引き起こしつつある。軍事と住民監視技術も共通点が多く、人工知能による個人識別（顔、歩き方など）は大きな問題になりつつある。

〔D〕直接関係のない企業や資産家の余剰金

軍事と関係のない企業や資産家の余剰金は、結果として資金バランスから間接的に武器などの軍事予算となっているはずである。軍事と関係がなくても、巨大企業が大きな利益をあげ、内部留保を確保するためには、世界のどこかでだれかが多額の借金をしている必要がある。多くの国が、多額の国債発行で予算を確保している。余剰金増大が低賃金によってもたらされている部分も大きい。賃金の上方硬直性が問題になっている裏側に、軍事予算増大を疑わせる。

3) 軍事産業にとっての戦争と利潤

戦争がおきると在庫の処分ができ、稼働率が上昇するので、当初は追加コストがかからず大きな利益が上がる。情報産業では、民間転用が簡単なので、戦争が途中で終わっても過剰設備をかかえて困らない。

一般に軍事産業は利潤率が高い。そのかわりコスト意識が働きにくいので、武器製造業では民生転換がむずかしい。また、人材は、アメリカでは軍事に近い宇宙産業で、NASA浪人が社会問題になった。日本の武器産業は利潤率が低い。武器輸出がほとんどないので、防衛省の発注に

ムラがあると稼働率の低下に見舞われる。アメリカ以外への武器輸出解禁を迫る圧力となっている。

4) 科学技術開発と軍事

本来、科学・技術は、ガリレオ、ダビンチの時代から軍事技術として発展した。世界のベンチャー企業も、軍事予算による支援の大きさを見逃してはいけない。欧米・日本も軍事が技術進歩をリードした歴史がある。第2次世界大戦から官民の区別があいまいになる総力戦になり、デュアルユースが顕在化。

この章では、それをさらに分割して4分類とした。この4分類による産業と軍事の関係の分析は今後の課題として、以下、世界的な軍事と経済の関係を国際データから考察する。

14-2 武器生産の実態

1) 世界の軍事産業

ストックホルム国際平和研究所のサイトから、世界の軍事産業のリストをつくった。この研究所は、毎年軍事産業の売上トップ100を公表している。その21年分を使って、出現回数を数え国別リストにした。名だたる企業が名を連ねている。この元データは古い年代にまちがいがあって、21年で27回出現などあきらかにおかしいところがあったので、フル出場21回に改めた。どの会社と間違っただかは見当がつくが、そのままにした。

日本のメーカーは9社だが、石川島播磨重工がIHIに社名変更したので、実質8社。7頁の表の下に国別企業数をあげた。249社のうちアメリカは110社で圧倒的。イギリス、ロシア、フランス、韓国がそれに続き10社以上。中国、日本が9社。イスラエル、ドイツ、イタリアが5社以上。この中で日本だけが、ほとんど輸出していない。

表14-1 世界の軍事産業 ストックホルム国際平和研究所より(3頁で1セット)

武器産業TOP100出現企業名	出現数	武器産業TOP100出現企業名	出現数
United States		United States	
Lockheed Martin Corp.	21	DRS Technologies	6
Northrop Grumman Corp.	21	Electronic Data Systems	6
General Dynamics Corp.	21	Oshkosh Truck Corp.	6
Booz Allen Hamilton	21	Parsons Corp.	5
CACI International	21	AECOM	5
Honeywell International	21	Navistar	5
General Electric	21	ARINC	5
Science Applications International Corp.	21	EDO	5
Textron	21	Halliburton	5
Bechtel Corp.	21	ITT Industries	5
ManTech International Corp.	21	L3Harris Technologies	4
Jacobs Engineering Group	21	Parker-Hannifin Corp.	4
Moog	20	Amphenol Corp.	4
General Atomics	18	GenCorp	4
The Aerospace Corp.	18	ITT Corporation	4
Raytheon	18	Alion Science & Technology Corp.	4
United Technologies Corp.	18	VSE Corp.	4
Precision Castparts Corp.	18	Anteon International Corp	4
Harris Corp.	17	Engineered Support Systems	4
Rockwell Collins	17	Stewart & Stevenson	4
Boeing	16	Raytheon Technologies	3
Curtiss-Wright Corp.	16	Amentum	3
DynCorp International	16	Mercury Systems	3
Oshkosh Corp.	15	Ball Corp.	3
Cubic Corp.	15	Howmet Aerospace	3
L-3 Communications	14	ViaSat	3
KBR	13	Perspecta	3
Fluor Corp.	13	L3 Technologies	3
Alliant Techsystems	13	CSRA	3
Computer Sciences Corp.	13	Orbital ATK	3
Mitre Corp.	12	Vencore	3
URS Corp.	12	AAR CORP	3
Sierra Nevada Corp.	11	Force Protection	3
United Launch Alliance	11	Armor Holdings	3
Leidos	10	Vought Aircraft Industries	3
Teledyne Technologies	10	United Defense Industries	3
Huntington Ingalls Industries	10	Titan Corp.	3
Goodrich Corp.	10	HII	2
AM General	9	Peraton	2
Sandia National Laboratories	8	Eaton	2
BWX Technologies	8	Exelis	2
Vectrus	8	ITT Exelis	2
Hewlett-Packard Company	8	Tetra Tech	2
TransDigm Group	7	Ceradyne	2
Aerojet Rocketdyne	7	United Industrial	2
Pacific Architects and Engineers	7	V2X	1
Engility	7	TTM Technologies	1
Chugach Alaska Corporation	7	HEICO Corp.	1
Triumph Group	6	Parker-Hannifin Corp	1
Shaw Group	6	DXC	1

武器産業TOP100出現企業名	出現数	武器産業TOP100出現企業名	出現数
United States		China	
Hewlett Packard Enterprise Company	1	NORINCO	8
AECOM Technology Corp.	1	AVIC	8
The Babcock & Wilcox Companies	1	CASC	8
Hawker Beechcraft Corp.	1	CETC	8
Esterline Technologies Corp.	1	CSSC	8
DynCorp	1	CSGC	8
General Motors Company	1	CASIC	7
Veridian Corp.	1	CSIC	5
Raytheon Aerospace Company	1	CNNC	3
Silicon Graphics	1		
United Kingdom		Italy	
Rolls-Royce	21	Fincantieri	21
Babcock International Group	21	Finmeccanica	14
Serco Group	21	Leonardo	7
BAE Systems	20	Avio	7
QinetiQ	20	FIAT	3
Cobham	20	Trans-European	
Meggitt	16	MBDA	21
GKN	16	EADS	12
Ultra Electronics Group	11	Airbus	5
VT Group	8	Airbus Group	4
Chemring Group	6	KNDS	2
Melrose Industries	5	CNH Industrial	2
Smiths Group	5	France	
Atomic Weapons Establishment	2	Thales	21
Alvis	2	CEA	21
		Safran	18
Russia		Dassault Aviation Groupe	18
Almaz-Antey	18	Nexter	15
Tactical Missiles Corp.	16	DCNS	10
United Shipbuilding Corp.	14	Naval Group	6
Rostec	8	DCN	4
United Aircraft Corp.	7	GIAT Industries	4
Russian Helicopters	7	Dassault Aviation Group	3
United Engine Corp.	6	Snecma Groupe	3
UralVagonZavod	6	SAGEM Groupe	3
Irkut	6	Direction des Constructions Navales	1
Sukhoi	5	Areva	1
UMPO	4	Germany	
Aerokosmicheskoe Oborudovanie	4	Rheinmetall	21
KRET	3	ThyssenKrupp	21
RTI Group	2	Krauss-Maffei Wegmann	19
High Precision Systems	1	Diehl	14
United Instrument Manufacturing Corp.	1	Hensoldt	6
Sozvezdie	1	MTU Aero Engines	6
Salut	1	DaimlerChrysler	4
RAC MiG	1	Sweden	
Severnaya Verf	1	Saab	21
Admiralty Shipyards	1	Volvo Group	1
Sevmash	1	Ericsson	1
KnAAPO	1	※ 社名変更した場合も別々に掲載	

武器産業TOP100出現企業名	出現数	武器産業TOP100出現企業名	出現数
Israel		Norway	
Elbit Systems	21	Kongsberg Gruppen	12
Rafael	21	Spain	
Israel Aerospace Industries	17	Navantia	12
Israel Aircraft Industries	4	Indra	8
Israel Military Industries	3	Izar	2
Plasan Sasa	2	New Izar	1
Elisra	1	Australia	
India		Austal	11
Hindustan Aeronautics	21	Tenix	5
Bharat Electronics	21	ASC	4
Indian Ordnance Factories	19	ADI	4
Mazagon Dock Shipbuilders	1	United Arab Emirates	
Japan		EDGE	2
Mitsubishi Heavy Industries	21	Switzerland	
Kawasaki Heavy Industries	21	RUAG	17
Mitsubishi Electric Corp.	15	Pilatus Aircraft	2
NEC Corp.	13	Brazil	
Fujitsu	12	Embraer	8
IHI Corp.	12	Finland	
Ishikawajima-Harima Heavy Industries	5	Patria Group	4
Toshiba Corp.	2	Kuwait	
Marine United	1	Agility	3
South Korea		South Africa	
Korea Aerospace Industries	19	Denel	3
LIG Nex1	16	国別企業数	
Samsung Techwin	13	国	社数
Hanwha Aerospace	5	United States	110
Hanwha Corp.	5	United Kingdom	15
Hanwha Techwin	3	China	9
DSME	3	Russia	23
Hyundai Heavy Industries	2	Italy	5
Doosan	2	Trans-European	6
Hyundai Rotem	1	France	14
Taiwan		Israel	7
NCSIST	5	Germany	7
Singapore		Sweden	3
ST Engineering	21	India	4
Türkiye		Japan	9
ASELSAN	13	South Korea	10
Turkish Aerospace Industries	8	Taiwan	1
Baykar	1	Singapore	1
Roketsan	1	Türkiye	4
Poland		Poland	2
PGZ	9	Canada	1
Bumar Group	8	Ukraine	2
Canada		Norway	1
CAE	14	Spain	4
Ukraine		Australia	4
UkrOboronProm	12	United Arab Emirates	1
Motor Sich	1	Switzerland	2
		Brazil	1
		Finland	1
		Kuwait	1
		South Africa	1
		合計	249

2) 各国の軍事費と武器生産

ストックホルム国際平和研究所のデータで、各国軍事費をあげた。また、武器生産額は世界のトップ100のメーカーの分しかわからないが、国別に集計した額を表14-2に載せた。武器取引のデータが5年分しかないので、すべて5年分合計で統一しているのご注意を。後でとりあげるとき表と共通にするので、武器輸出上位40国を輸出の多い順に並べて、武器生産額をあげた。一番下に日本も載せている。

武器生産と武器輸出の傾向はだいたい同じである。軍事費は、アメリカ、中国、インドが上位3位。武器生産は、アメリカ、中国、イギリスが上位3位。また、軍事費とも並行している。日本の武器生産は5年で4億ドルを超えるが、武器輸出は5年でわずか500万ドル。武器生産が一番多いアメリカは5年で1兆2800億ドル、軍事費は3兆7700億ドル。円ではないのでお間違いなく。

表14-2 基本経済統計と武器統計 単位：100万ドル

2016-2020 国名	IMF GDP	OECD 国家予算	IMF		ストックホルム国際平和研究所				
			総輸出	総輸入	軍事費	武器生産 Top100	武器支出	武器輸出	武器輸入
米国	101917900	40554000	11546427	7524923	3767131	1286680	1238247	51489	3056
ロシア	7694505	2731878	1072544	1875683	328509	165130	135704	29714	288
フランス	13233682	8148101	3183116	2828179	271234	113910	102046	12498	634
中国	66406420	24968286	8469942	12386087	1264128	437960	437188	7727	6955
ドイツ	18909695	9472426	5844506	7043062	253817	40340	32850	7693	203
イギリス	13789809	6329123	3330686	2120788	308220	187170	185292	4674	2796
イスラエル	1864723	845636	356640	312690	112434	43990	42263	4264	2537
韓国	8144304	1825459	2284701	2955643	218771	32170	34362	3719	5911
スペイン	6640115	3163522	1717764	1524608	89649	910	-	3284	441
イタリア	9838290	5291261	2344022	2581490	149206	58740	57759	3109	2128
オランダ	4351429	2047809	2952372	2910904	60691	-	-	2780	1321
ウクライナ	646838	329199	256764	250187	25909	6010	4765	1365	120
トルコ	3988988	1112536	1006818	844081	76086	13510	14438	1169	2097
スイス	3571985	1271103	1372387	1590747	27192	2590	-	1024	-
スウェーデン	2693062	1432428	745182	784561	31321	15670	14793	996	119
オーストラリア	6995741	2896338	1011263	1271120	146590	5190	-	791	7113
UAE	1954284	0	1105071	959998	0	9500	13154	629	4283
カナダ	8294392	3990370	2147392	2102769	120941	2920	3520	603	1203
ベラルーシ	288262	11116	147895	119160	3422	-	-	497	752
南アフリカ	1837087	627989	448807	586157	18721	0	-	488	-
ルウェー	1988859	1082570	398912	521094	37762	0	-	437	1849
ブラジル	9133708	2915884	842448	1184344	103747	1880	2197	429	746
Czechia	1162424	562490	-	-	14979	-	-	392	17
インド	13209050	3938052	2051665	1456388	357828	30880	44668	321	14109
ポルトガル	1138976	544510	403869	309981	16743	-	-	280	137
ヨルダン	212955	66233	96520	40613	10189	-	-	265	1170
インドネシア	5167922	915626	785164	956745	42922	-	-	203	2333
フィンランド	1312365	772145	352937	365586	19568	0	-	158	434
ベルギー	2583933	1514932	1938274	1959839	25851	-	-	129	111
ブルガリア	318516	124152	174977	153548	6297	-	-	119	46
セルビア	240383	117516	108471	93175	5264	-	-	119	377
シンガポール	1764402	298512	1541941	1210509	53359	8480	10634	96	2250
ウズベキスタン	321598	14399	79074	52206	1581	-	-	68	-
デンマーク	1703340	943040	487934	504413	22931	-	-	61	307
リトアニア	256302	101610	154408	136140	5384	-	-	60	179
オーストリア	2147466	1201474	845607	890880	18325	-	-	58	-
スロバキア	504123	233787	404722	432755	8021	-	-	57	-
ポーランド	2778947	1301267	1294494	1192849	61276	6600	7190	49	639
ギリシャ	998644	532536	298034	158111	28348	-	-	30	586
未知の供給業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イラン	1926566	171314	226364	241778	25045	-	-	25	424
日本	25142179	9681253	3071624	3629107	242488	42100	45524	5	3429

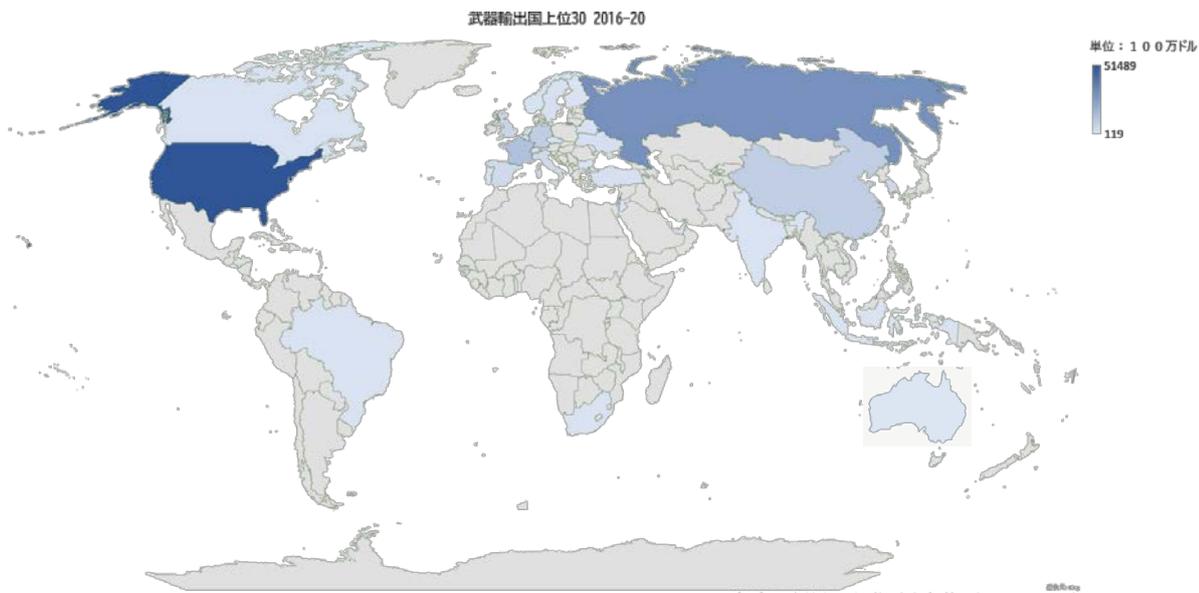
14-3 各国の武器輸出入総額

1) 武器輸出 表14-2 参照

アメリカ、ロシア、フランス、中国、ドイツが5大輸出国である。アメリカは年平均で1兆円以上輸出している。ただし、総輸出額の0.4%にすぎない。世界全体でも武器の割合は2%程度だが、貿易額は中間支出を含んでいるので、付加価値ではおおよその見当で2倍の4~5%程度だと思える。総輸出額の中でロシアの2.8%は圧倒的に大きい。ウクライナ戦争以前の状態である。この表の武器輸出の割合はかなり低いので、把握できていない武器輸出が多い可能性がある。武器輸出率が次に高いのは、イスラエル1.2%である。

以下の図で、オーストラリアが少し変なのは、Excelのマップ機能の欠陥でオーストラリアが欠落してしまうから。別の画像に、当てはまる色を塗って張り付けてある。

図14-3 武器輸出上位30カ国 2016-2020合計



2) 武器輸入 (19頁の表14-6 参照)

武器輸入が多いのは、サウジアラビア、インド、エジプト、オーストラリア、中国であることがわかる。輸出入両方が5位以内は中国だけである。両方10位以内だと韓国がある。

14-4 世界的武器貿易

ストックホルム国際平和研究所（SIPRI）は毎年年鑑を発行して、国際的軍事情勢や核軍縮、武器取引などについて基礎的な情報と分析を提供している。武器取引の実態として、どの国からどの国に、どれだけ武器輸出をしているかが知りたい。それを、表14-3にまとめた。

SIPRI年鑑には、輸出上位50国と輸入上位50国のそれぞれに、多い順に3カ国の取引割合を%で載せている。武器メーカー上位100社のデータを、5年分の合計金額割合を%で表わしている。一方、各国毎年の武器輸出入額をネットで公開している。武器輸出入額それぞれを国別に5年分合計して、上記の%に掛けると金額がわかる。各国輸出入額総額には、上位100社以外の取引も含んでいるが、大部分を網羅しているはずなので、差は大きくないはずである。

%表記は2桁表示なので、算出した金額も有効数字は2桁なのでご注意ください。また、輸出上位50国と輸入上位50国のそれぞれ3カ国には、重なる組み合わせもある。その場合は、2つの平均を取った。次頁以後の表は、左側に縦に輸出国、上側に横に輸入国をとって、まじわる升目取引金額を100万ドル単位で載せた。円ドルの購買力平価は、だいたい今も100円/ドルなので、約1億円にあたりと考えてもらえばいい。輸出国に比べて輸出国が多いので、大変横に長い表になっている。

【考察】

もっとも輸出総額が多いのがアメリカで、年間1兆円（5年で5兆円）以上。もっとも輸入額が大きいのがサウジアラビアで年間3000億円以上。サウジアラビアの輸入額の80%ほどがアメリカから。もっとも少ない方では、表の一番右下のほうの「イランからイエメン（フーシ派）に」5年で20億円。額は少なくとも、今のイスラエルによるガザ攻撃に関連する重要な情報である。

アメリカからの輸出が多いのは貿易行列の表から、サウジアラビア、オーストラリア。ロシアは、インド、中国である。イラクはめずらしく、両方から大量（10億ドル以上）に輸入している。どこから輸入するかで、欧米寄りの中露寄りで世界を2分している。日本の武器輸入はアメリカが圧倒的だが、イギリス、スウェーデンからも輸入している。

そのほか、たくさんのがわかるが、それは読者のみなさんが自分で見つけていただきたい。

貿易行列表2016-2020

単位:100万ドル 有効数字2桁	輸入国	輸出入		カボベルデ
		輸出	輸入	
	米国	51489		3
	ロシア	29714	424	17
	フランス	12498		18
	中国	7727		20
	ドイツ	7693		34
	イギリス	4674		46
	イスラエル	4264		52
	韓国	3719		70
	スペイン	3284		79
	イタリア	3109		79
	オランダ	2780		70
	ウクライナ	1365	273	79
	トルコ	1169	82	79
	スイス	1024		111
	スウェーデン	996		117
	オーストラリア	791		119
	UAE	629		119
	カナダ	603		117
	ベラルーシ	497	65	119
	南アフリカ	488		117
	ルウェー	437		119
	ブラジル	429		117
	Czechia	392		119
	インド	321		117
	ポルトガル	280	77	117
	ヨルダン	265	3	117
	インドネシア	203		117
	フィンランド	158		117
	ベルギー	129		117
	ブルガリア	119		117
	セルビア	119	25	117
	シンガポール	96		117
	ウズベキスタン	68		117
	デンマーク	61		117
	リトアニア	60		117
	オーストリア	58		117
	スロバキア	57		117
	ポーランド	49		117
	ギリシャ	30		117
	未知の供給業者	29		117
	イラン	25		117
				イエメン(フーシ派)
				カメルーン
				ブルガリア
				ネパール
				モリタニア
				キプロス
				ベルギー
				ハンガリー
				スウェーデン
				ラトビア
				ウクライナ
				ポルトガル
				セネガル
				リトアニア
				ベネズエラ
				ドイツ
				スリランカ
				コロンビア
				スーダン
				ロシア
				デンマーク
				シリア
				アルメニア
				セルビア
				ペルー
				イラン
				コートジボアール
				Czechia
				3
				42
				9
				38
				18
				6
				7
				5
				20
				24
				15
				12
				11
				5
				5
				5

14-5 武器生産・軍事産業のマクロ経済での位置づけ

1) 世界的余剰金と軍事産業

世界的に、先進各国の民間企業（非金融）の余剰金が積みあがる一方、政府部門の借入金が増えている。同じ国の中で、政府から民間企業に資金が移動していると同時に、貿易・資本取引による国家間の資金移動も膨大である。国内的には法人減税競争によって、国家間では主に多国籍企業の活動がこのような事態を招いている。政府による緊縮財政が必要な民生分野の公共支出を減らし、大量の国債発行が投資家や金融部門の利益につながっている。

国を超えた多国籍企業などの活動が様々な問題を引き起こしている。その中で、軍事産業の利益と各国内の資金循環（部門別貸借関係）、先進国と資源国・途上国の間の資金移動の実態の分析を試みる。そして、資金余剰と最終支出としての軍事支出の関係を調べる。

2) 民間企業と余剰金

民間企業の「付加価値」から賃金・報酬を差し引いた残りが「利潤」である。利潤から、法人税・配当金・利払いを除くと、企業の手元に残る資金が企業貯蓄（内部留保）である。内部留保は、日本で20世紀末から民間法人部門がマクロで資金余剰主体になったことで、注目を集めた。日本以外の先進各国でも内部留保が拡大しているはずだが、マクロには表面化していない。

おそらく、タックスヘイブンの利用で利潤ではない形で蓄積しているものと思える。一方、個別企業の内部留保は、情報産業を中心に多くの人の知るところである。日本の企業は、たくさんの租税特別措置があるので、実質の税負担はかなり軽い。名目法人税率のことをマスコミなどが、「実効税率」などと実質税率であるかのように報道するので、少ない負担が近年の減税でさらに減っている。それで、日本企業は、法律の抜け道のようなタックスヘイブンを、あえて使わなかったようだが、最近は拡大。後述の「グローバル・タックスと多国籍企業」金子文夫著によると、468億ドル（2013年）にもものぼる推定を紹介している。

3) 余剰金と借入金

近代以前の世界では、利益をためる手段は金銀などの実物資産の割合が大きかった。その時代は、ためた富はそこにあるので、富の所有主体で富は完結していた。ところが、貨幣とくに信用創造による富の蓄積が一般的になると、余剰金は別のだれかの借入金とうらはらの関係になる。世界的に法人内部留保が大きくなると、政府や家計の負債が増える。マクロに家計が赤字になったことがある先進国はアメリカやポルトガルぐらいであるが、政府の負債の増大は世界的に一般化しつつある。

その中で、軍事費や武器購入費用になる部分はどれくらいの割合をしめるのであろうか。国際マクロ経済データと、武器関連の統計をさぐることにした。特に途上国の武器輸入と借金の関係は気になるところである。

4) 有効需要？

需要不足対策としての武器消耗（戦争）の是非は、戦前から問題になっていた。また、軍事費の中の武器生産の割合と人件費、失業対策の一面など気になる点が多い。今回は武器生産と、武器貿易に焦点をしばった。産業の中の武器生産や戦争は、前回テーマにした産業連関分析を編み出したレオンチェフの問題意識でもあった。

14-6 余剰金と武器取引

1) 地球規模の余剰金と武器産業

以下のような表のような組み合わせで、上述の3つの表を作成してそのパーセンテージを算出した。最後に、各国セクターの余剰金と武器関連データの関係を考察する。各表で目立つ数字の背景をオレンジ色に塗った。

対応する表	軍事武器費・余剰金比率 輸出の多い順					GDP・余剰金 輸出の多い順			
						余剰金			
分子	軍事費	武器生産	武器支出	武器輸出	武器輸入	国全体	政府	家計	民間企業
分母									
GDP						○	○	○	○
国家予算	○				○				
全輸出入				○	○				
余剰金(国全体)			○	○	○	-			
余剰金(政府)			○		○		-		
余剰金(家計)								-	
余剰金(民間企業)		○		○	○				-
武器生産		-		○					
武器支出			-		○				

2) 資金余剰・借入主体（17頁の表14-4参照）

武器輸出の多い各国の3つのセクターの貯蓄／借入状態をOECDの国民経済計算統計から考察する。以下、2016年からの5年間の合計値ですべて分析する。OECDデータで気をつけるべきことは、加盟国が先進国を中心に40カ国程度しかないので、武器を輸入している途上国や産油国などを含まないことです。

武器輸出国で全体の余剰金が多いのは、ヨーロッパ北半分のドイツ、オランダ、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、ポーランド、リトアニア、そのほかにオーストラリア、イスラエル、トルコ、韓国などである。これらの国は需要不足をうかがわせる。過去の債務返済に追われるギリシャは、-10%ほどの大幅な借入（マイナスの余剰金は借入）がある。

政府は軒並み借入主体であるが、アメリカ、スペインが5%以上である。日本がそれほど目立たないのは、政府が年金基金など他国にない大量の資産を積み上げていて相殺しているからである。スイスは、家計が大幅に貯蓄しているが民間法人が5%近く借入しているのが特徴的で、武器生産と輸出で有名である。

民間法人のデータが内部留保と異なるのは、資金以外の資産の積み上げも企業貯蓄になるからである。韓国、スペイン、リトアニア、ポーランドが10%以上のプラスである。これらは、武器輸出の上位にあるが輸出に定める武器輸出が多いわけではない。

3) 武器輸出と余剰金（18頁の表14-5参照）

フランス、イギリスの武器輸出が民間法人の余剰金に貢献しているのがわかる。イギリスは、国全体で貯蓄がマイナスであるので、武器輸出が貿易赤字の拡大を防いでいる。アメリカは、輸出額世界一だが総輸出に定める割合はそれほど大きくない。スウェーデンは武器輸出先を厳密に審査しているというが、表14-3（11頁）によると問題のありそうなアルジェリアやパキスタンにも輸出している。

4) 武器輸入と余剰金（18・19頁の表14-5・6参照）

赤字の政府貯蓄に定める武器輸入の割合が大きいのが、イスラエル、オーストラリア、リトアニアである。貯蓄に対する武器輸入率がマイナスになるのは、分母の政府貯蓄がマイナスだからである。イスラエルは大半がアメリカからの輸入である（表14-3）。オランダは、政府貯蓄が黒字であるが、それに対する武器輸入割合が高い。予算に余裕のある中で、武器を購入することになる。政府貯蓄が国全体の貯蓄を黒字にしている珍しい国であるが、タックスヘイブン国家と言われていることと関係がありそうである。タックスヘイブン国家とは、登記した企業の法人税を安くして手数料収入を得るなど、節税を手助けしながら手数料をあてにしている国家や地域のことである。

総輸入に定める武器輸入が多いのは、アルジェリア、パキスタン、アフガニスタンなど政情不安定の国ばかりである。特にアフガニスタンは20%近い。国家予算に定める武器輸入の割合では、ベラルーシ6.8%が目立つ。

また、国家予算に定める軍事予算が20%以上と大きいのは、サウジアラビア、オマーン、ベラルーシであるが、10%を超える国が表3に13カ国もある。

5) まとめ

世界の民間企業の内部留保の大きさが問題になっているが、武器取引が特に大きな割合をしめているようには見えない。しかし、一定の割合をしめているのは事実で、途上国や政情不安定国では無視できない大きな割合をしめている。製造業が衰退したヨーロッパ諸国が、武器を有力な輸出品にしているのは確かで、その利益が戦争・紛争抑止の力を弱めている。また、冷戦期ほどではないが、武器取引のブロック化が、欧米と中露の間に進んでいることも、表14-3の武器貿易行列から読み取れる。

表14-4 GDP・余剰金 輸出の多い順

2016-2020 国名	IMF		IMF		貯蓄額 Million USD				対GDP				
	GDP	国家予算	総輸出	総輸入	国全体	政府	家計・NPO 非金融	OECD 家計・NPO 非金融	民間法人 非金融	国全体	政府	家計・NPO 非金融	民間法人 非金融
米国	101917900	40554000	11546427	7524923	3231000	-7196000	7681000	2746000	2746000	3.2%	-7.1%	7.5%	2.7%
ロシア	7694505	2731878	1072544	1875683	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フランス	13233682	8148101	3183116	2828179	640159	-498884	958187	180861	180861	4.8%	-3.8%	7.2%	1.4%
中国	66406420	24968286	8469942	12386087	2508145	275653	1605412	627080	627080	13.3%	1.5%	8.5%	3.3%
ドイツ	18909695	9472426	5844506	7043062	-131342	-478101	185839	156104	156104	-1.0%	-3.5%	1.3%	1.1%
イギリス	13789809	6329123	3330686	2120788	224766	-54493	0	0	0	12.1%	-2.9%	0.0%	0.0%
イスラエル	1864723	845636	356640	312690	1848456	415723	540598	892136	892136	22.7%	5.1%	6.6%	11.0%
韓国	8144304	1825459	2284701	2955643	597967	-455596	280012	773551	773551	9.0%	-6.9%	4.2%	11.6%
スペイン	6640115	3163522	1717764	1524608	398635	-376138	340867	433907	433907	4.1%	-3.8%	3.5%	4.4%
イタリア	9838290	5291261	2344022	2581490	592338	15378	305735	271225	271225	13.6%	0.4%	7.0%	6.2%
オランダ	4351429	2047809	2952372	2910904	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウクライナ	646838	329199	256764	250187	426625	-139682	0	0	0	10.7%	-3.5%	0.0%	0.0%
トルコ	3988988	1112536	1006818	844081	226634	47450	345204	-166019	-166019	6.3%	1.3%	9.7%	-4.6%
スイス	3571985	1271103	1372387	1590747	335734	45733	210381	79620	79620	12.5%	1.7%	7.8%	3.0%
スウェーデン	2693062	1432428	745182	784561	374566	-139853	349549	164869	164869	5.4%	-2.0%	5.0%	2.4%
オーストラリア	6995741	2896338	1011263	1271120	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UAE	1954284	0	1105071	959998	234426	-119118	234720	118966	118966	2.8%	-1.4%	2.8%	1.4%
カナダ	8294392	3990370	2147392	2102769	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ペラルーシ	288262	11116	147895	119160	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南アフリカ	1837087	627989	448807	586157	1550	-34894	-13355	49799	49799	0.1%	-3.1%	-1.2%	4.4%
ノルウェー	1988859	1082570	398912	521094	258983	117714	69607	71758	71758	13.0%	5.9%	3.5%	3.6%
ブラジル	9133708	2915884	842448	1184344	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Czechia	1162424	562490	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インド	13209050	3938052	2051665	1456388	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ポルトガル	1138976	544510	403869	309981	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヨルダン	212955	66233	96520	40613	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インドネシア	5167922	915626	785164	956745	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フィンランド	1312365	772145	352937	365586	62888	-18341	3654	77607	77607	4.8%	-1.4%	0.3%	5.9%
ベルギー	2583933	1514932	1938274	1959839	180718	-79266	120177	139805	139805	7.0%	-3.1%	4.7%	5.4%
ブルガリア	318516	124152	174977	153548	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セルビア	240383	117516	108471	93175	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シンガポール	1764402	298512	1541941	1210509	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウズベキスタン	321598	14399	79074	52206	-	-	-	-	-	-	-	-	-
デンマーク	1703340	943040	487934	504413	222200	40428	44439	137332	137332	13.0%	2.4%	2.6%	8.1%
リトアニア	256302	101610	154408	136140	38725	-3458	1724	40464	40464	15.1%	-1.3%	0.7%	15.8%
オーストリア	2147466	1201474	845607	890880	224457	-19897	129118	115237	115237	10.5%	-0.9%	6.0%	5.4%
スロバキア	504123	233787	404722	432755	36034	-18220	20575	33677	33677	7.1%	-3.6%	4.1%	6.7%
ポーランド	2778947	1301267	1294494	1192849	507303	-56991	152803	411488	411488	18.3%	-2.1%	5.5%	14.8%
キリヤ	998644	532536	298034	158111	-96538	-33470	-106614	43170	43170	-9.7%	-3.4%	-10.7%	4.3%
未知の供給業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イラン	1926566	171314	226364	241778	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日本	25142179	9681253	3071624	3629107	1274055	-991735	649905	1615896	1615896	5.1%	-3.9%	2.6%	6.4%

表14-5 軍事武器費・余剰金比率 輸出の多い順

2016-2020	IMF	ストックホルム国際平和研究所				武器輸出 / 総純貯蓄				武器輸入 / 総純貯蓄				武器輸出 / 武器生産				武器輸入 / 法人貯蓄				武器輸入 / 国家予算			
国名	GDP	軍事費	武器生産 Top100	武器輸出	武器輸入	武器輸出 / 総純貯蓄	武器輸出 / 法人貯蓄	武器輸出 / 武器生産	武器輸入 / 総純貯蓄	武器輸入 / 政府貯蓄	武器輸入 / 法人貯蓄	武器輸入 / 国家予算	武器輸出 / 武器生産	武器輸出 / 法人貯蓄	武器輸入 / 総純貯蓄	武器輸入 / 法人貯蓄	武器輸入 / 国家予算	武器輸出 / 武器生産	武器輸出 / 法人貯蓄	武器輸入 / 総純貯蓄	武器輸入 / 法人貯蓄	武器輸入 / 国家予算			
米国	101917900	3767131	1286680	51489	3056	1.6%	1.9%	4.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	4.0%	1.9%	0.1%	0.0%	0.0%	4.0%	1.9%	0.1%	0.0%	0.0%			
ロシア	7694505	328509	165130	29714	288	-	-	18.0%	-	-	-	-	2.8%	-	-	-	-	18.0%	-	-	-	9.3%			
フランス	13233682	271234	113910	12498	634	2.0%	6.9%	11.0%	0.1%	-0.1%	0.4%	0.0%	0.4%	6.9%	0.4%	0.0%	0.0%	11.0%	0.4%	0.0%	0.0%	12.0%			
中国	66406420	1264128	437960	7127	6955	-	-	1.8%	-	-	-	-	0.1%	-	-	-	-	1.8%	-	-	-	3.3%			
ドイツ	18709695	253817	40340	7693	203	0.3%	1.2%	19.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	19.1%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	19.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%			
イギリス	13789809	308220	187170	4674	2796	-3.6%	3.0%	2.5%	-2.1%	-0.6%	1.8%	0.0%	2.5%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	1.8%	0.0%	0.0%	2.7%			
イスラエル	1864723	112434	43990	4264	2537	1.9%	-	9.7%	1.1%	-4.7%	-	0.0%	9.7%	-	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	-	0.0%	0.0%	4.9%			
韓国	8144304	218771	32170	3719	5911	0.2%	0.4%	11.6%	0.3%	1.4%	0.7%	0.0%	11.6%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	11.6%	0.7%	0.0%	0.0%	13.3%			
スペイン	6640115	89649	910	3284	441	0.5%	0.4%	-	0.1%	-0.1%	0.1%	0.0%	-	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.0%	0.0%	2.8%			
イタリア	9838290	149206	58740	3109	2128	0.8%	0.7%	5.3%	0.5%	-0.6%	0.5%	0.0%	5.3%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%	5.3%	0.5%	0.1%	0.0%	2.8%			
オランダ	4351429	60691	-	2780	1321	0.5%	1.0%	-	0.2%	8.6%	0.5%	0.0%	-	1.0%	0.2%	0.0%	0.0%	-	0.5%	0.0%	0.0%	3.0%			
ウクライナ	646838	25909	6010	1365	120	-	-	22.7%	-	-	-	-	22.7%	-	-	-	-	22.7%	-	-	-	7.9%			
トルコ	3988988	76086	13510	1169	2097	0.3%	-	8.7%	0.5%	-1.5%	-	0.0%	8.7%	-	0.2%	0.0%	0.0%	8.7%	-1.5%	-	0.2%	6.8%			
スイス	3571985	27192	2590	1024	-	0.5%	-0.6%	39.5%	-	-	-	-	39.5%	-0.6%	-	-	-	39.5%	-	-	-	2.1%			
スウェーデン	2693062	31321	15670	996	119	0.3%	1.3%	6.4%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	6.4%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.4%	0.3%	0.1%	0.0%	2.2%			
オーストラリア	6995741	146590	5190	791	7113	0.2%	0.5%	15.2%	1.9%	-5.1%	4.3%	0.0%	15.2%	0.5%	0.6%	0.2%	0.0%	15.2%	-5.1%	4.3%	0.6%	5.1%			
UAE	1954284	0	9500	629	4283	-	-	6.6%	-	-	-	-	6.6%	-	-	-	-	6.6%	-	-	-	-			
カナダ	8294392	120941	2920	603	1203	0.3%	0.5%	20.7%	0.5%	-1.0%	1.0%	0.0%	20.7%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	20.7%	-1.0%	1.0%	0.1%	3.0%			
ベラルーシ	288262	3422	-	497	752	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
南アフリカ	1837087	18721	0	488	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.8%			
ノルウェー	1988859	37762	0	437	1849	0.2%	0.6%	-	0.7%	1.6%	2.6%	0.0%	-	0.6%	0.4%	0.2%	0.0%	-	1.6%	2.6%	0.4%	3.5%			
ブラジル	9133708	103747	1880	429	746	-	-	22.8%	-	-	-	-	22.8%	-	0.1%	0.0%	0.0%	22.8%	-	-	0.1%	3.6%			
Czechia	1162424	14979	-	392	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7%			
インド	13209050	357828	30880	321	14109	-	-	1.0%	-	-	-	-	1.0%	-	1.0%	0.4%	0.0%	1.0%	-	-	1.0%	9.1%			
ポルトガル	1138976	16743	-	280	137	18.1%	0.6%	-	8.8%	-0.4%	0.3%	0.0%	-	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-0.4%	0.3%	0.0%	3.1%			
エルドアン	212955	10189	-	265	1170	-	-	0.3%	-	-	-	-	0.3%	-	2.9%	1.8%	0.0%	-	-	-	2.9%	15.4%			
インドネシア	5167922	42922	-	203	2333	-	-	0.0%	-	-	-	-	0.0%	-	-	-	-	0.0%	-	-	-	4.7%			
フィンランド	1312365	19568	0	158	434	0.3%	0.2%	-	0.7%	-2.4%	0.6%	0.0%	-	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	-	-2.4%	0.6%	0.1%	2.5%			
ベルギー	2583933	25851	-	129	111	0.1%	0.1%	-	0.1%	-0.1%	0.1%	0.0%	-	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-0.1%	0.1%	0.0%	1.7%			
ブルガリア	318516	6297	-	119	46	-	-	0.1%	-	-	-	-	0.1%	-	-	-	-	0.1%	-	-	-	5.1%			
セルビア	240383	5264	-	119	377	-	-	0.1%	-	-	-	-	0.1%	-	0.4%	0.3%	0.0%	-	-	-	0.4%	4.5%			
シンガポール	1764402	53359	8480	96	2250	-	-	1.1%	-	-	-	-	1.1%	-	0.2%	0.8%	0.0%	-	-	-	0.2%	17.9%			
ウズベキスタン	321598	1581	-	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.0%			
デンマーク	1703340	22931	-	61	307	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.8%	0.2%	0.0%	-	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.8%	0.2%	0.1%	2.4%			
リトアニア	256302	5384	-	60	179	0.2%	0.1%	0.0%	0.5%	-5.2%	0.4%	0.0%	-	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	-	-5.2%	0.4%	0.1%	5.3%			
オーストラリア	2147466	18325	-	58	-	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%	0.1%	-	-	-	0.0%	-	-	-	1.5%			
スロバキア	504123	8021	-	57	-	0.2%	0.2%	0.0%	0.1%	-	-	-	0.2%	0.2%	-	-	-	0.0%	-	-	-	3.4%			
ポーランド	2778947	61276	6600	49	639	0.0%	0.0%	0.7%	0.1%	-1.1%	0.2%	0.0%	0.7%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	-	-1.1%	0.2%	0.1%	4.7%			
ギリシャ	998644	28348	-	30	586	0.0%	0.1%	-	-0.6%	-1.8%	1.4%	0.0%	-	0.1%	0.4%	0.1%	0.0%	-	-1.8%	1.4%	0.4%	5.3%			
未知の供給業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
イラン	1926566	25045	-	25	424	-	-	0.0%	-	-	-	-	0.0%	-	0.2%	0.2%	0.0%	-	-	-	0.2%	14.6%			
日本	25142179	242488	42100	5	3429	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.3%	0.2%	0.1%	2.5%			

表14-6 軍事武器費・余剰金比率 輸入の多い順

2016-2020 国名	IMF GDP	ストックホルム国際平和研究所				武器輸出・輸入				武器輸出・輸入				武器輸出・輸入				武器輸出・輸入			
		軍事費	武器生産 Top100	武器輸出	武器輸入	武器輸出 /総純貯蓄	武器輸出 /法人貯蓄	武器輸出 /武器生産	武器輸入 /総純貯蓄	武器輸入 /政府貯蓄	武器輸入 /法人貯蓄	武器輸入 /総輸入	武器輸入 /国家予算	武器輸出 /総純貯蓄	武器輸出 /法人貯蓄	武器輸出 /武器生産	武器輸入 /総純貯蓄	武器輸入 /政府貯蓄	武器輸入 /法人貯蓄	武器輸入 /総輸入	武器輸入 /国家予算
サウジアラビア	3800414	356922	-	5	16118	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5%	1.2%	25.8%
インド	13209050	357828	30880	321	14109	-	-	321	14109	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0%	0.4%	9.1%
エジプト	1404019	22944	-	3	8181	-	-	3	8181	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6%	4.5%
オーストラリア	6995741	146590	5190	791	7113	0.2%	0.5%	791	7113	15.2%	0.2%	0.2%	1.9%	-5.1%	4.3%	0.6%	0.2%	0.6%	0.2%	0.2%	5.1%
中国	66406420	1264128	437960	7727	6955	-	-	7727	6955	1.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	0.0%	5.1%
アルジェリア	822546	48940	-	0	6168	-	-	0	6168	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7%	2.0%	15.7%
韓国	8144304	218771	32170	3719	5911	0.2%	0.4%	3719	5911	11.6%	0.2%	0.3%	0.3%	1.4%	0.7%	0.2%	0.3%	1.5%	0.3%	12.0%	-
カタール	816949	0	-	14	4971	-	-	14	4971	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4%	-	-
UAE	1954284	0	9500	629	4283	-	-	629	4283	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4%	-	-
パキスタン	1556854	54375	-	7	4005	-	-	7	4005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4%	1.3%	18.2%
日本	25142179	242488	42100	5	3429	0.0%	0.0%	5	3429	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	2.5%
イラク	995748	28818	-	0	3331	-	-	0	3331	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9%	1.0%	9.0%
米国	101917900	3767131	1286680	51489	3056	1.6%	1.9%	51489	3056	4.0%	1.6%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%
イギリス	13789809	308220	187170	4674	2796	-3.6%	3.0%	4674	2796	2.5%	-3.6%	-2.1%	-0.6%	1.8%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	4.9%
イスラエル	1864723	112434	43990	4264	2537	1.9%	-	4264	2537	9.7%	1.9%	1.1%	-4.7%	-	-	0.8%	0.3%	0.8%	0.3%	13.3%	-
ベトナム	1529537	17205	-	10	2483	-	-	10	2483	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%	1.2%	8.7%
インドネシア	5167922	42922	-	203	2333	-	-	203	2333	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%	0.3%	4.7%
シンガポール	1764402	53359	8480	96	2250	-	-	96	2250	1.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%	0.8%	17.9%
タイ	9838290	149206	58740	3109	2128	0.8%	0.7%	3109	2128	5.3%	0.8%	0.5%	-0.6%	0.5%	0.5%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	2.8%
トルコ	3988988	76086	13510	1169	2097	0.3%	-	1169	2097	8.7%	0.3%	0.5%	-1.5%	-	-	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	6.8%
トルウェー	1988859	37762	0	437	1849	0.2%	0.6%	437	1849	-	0.2%	0.7%	1.6%	2.6%	2.6%	0.4%	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%	3.5%
タイ	2420911	34988	-	5	1725	-	-	5	1725	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	0.3%	6.3%
バンラヂャシュ	1591846	21689	-	0	1708	-	-	0	1708	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9%	0.7%	9.4%
オマーン	411462	35516	-	7	1682	-	-	7	1682	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9%	1.0%	20.8%
モロッコ	607729	21113	-	0	1414	-	-	0	1414	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0%	0.7%	10.8%
アフガニスタン	95470	1071	-	-	1335	-	-	-	1335	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.7%	5.1%	4.1%
オランダ	4351429	60691	-	2780	1321	0.5%	1.0%	2780	1321	-	0.5%	0.2%	8.6%	0.5%	0.5%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	3.0%
ガザフスタン	836174	7826	-	0	1268	-	-	0	1268	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6%	0.7%	4.2%
カナダ	8294392	120941	2920	603	1203	0.3%	0.5%	603	1203	20.7%	0.3%	0.5%	-1.0%	1.0%	1.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	3.0%
ヨルダン	212955	10189	-	265	1170	-	-	265	1170	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9%	1.8%	15.4%
ミャンマー	349065	14971	-	-	1098	-	-	-	1098	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4%	1.0%	14.1%
フィリピン	1732524	22774	-	0	1056	-	-	0	1056	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%	0.3%	5.5%
アゼルバイジャン	216713	9789	-	-	1010	-	-	-	1010	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2%	1.2%	11.4%
台湾	-	60152	4100	8	846	-	-	8	846	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.1%	10.1%
メキシコ	5985299	33986	-	1	781	0.0%	0.0%	1	781	-	0.0%	0.0%	-0.2%	-0.3%	-0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
アンゴラ	462559	7673	-	0	754	-	-	0	754	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5%	1.0%	9.7%
ベラルーシ	288262	3422	-	497	752	-	-	497	752	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6%	6.8%	30.8%
ブラジル	9133708	103747	1880	429	746	-	-	429	746	22.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	0.0%	3.6%
マレーシア	1681671	18455	-	1	686	-	-	1	686	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.2%	4.5%
ポーランド	2778947	61276	6600	49	639	0.0%	0.0%	49	639	0.7%	0.0%	0.1%	-1.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	4.7%
フランス	13233682	271234	113910	12498	634	2.0%	6.9%	12498	634	11.0%	2.0%	0.1%	-0.1%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%

14-7 タックスヘイブンと武器取引

タックスヘイブンは、法人登記すれば合法的に節税できる手段になる国や地域のことである。合法なので、一定公開情報があり、資金を送り出す先進国側では国民経済計算の中に含んでいる部分もある。その公開情報や金融機関の協力で、タックスヘイブンの実態をOECDなどが推測している。いくつもの推計があるが、世界で年間20兆円～50兆円程度節税しているようである。しかし、これは総額であって、どんな取引に関連する資金移動であるかはわからない。恐らく、別の名目で武器の不正取引にも使っている。

タックスヘイブンに関係するが、不正資金移動額の推定もある。ワシントンにある「グローバル金融インテグリティ」という組織が毎年公表している。関税逃れや、武器・薬物・臓器の違法取引であるという。やや古いデータだが、不正資金移動額の推定と同じ時期の武器取引の額を、ストックホルム国際平和研究所のデータを元に表にまとめた。

ここでの武器貿易の額は公開部分だが、不正取引の額が多い国ほど武器取引が多い関係にある。不正資金移動が多い中国、ロシア、インドで、武器貿易の額が大きいことがわかる。輸出が多いのがロシア・中国で、輸入が多いのが中国・インド。そのほか、リストにあるサウジアラビア、ブラジル、インドネシア、タイも武器輸入が多い。不正資金移動のうち、武器取引がどれくらいあるかまでは、わからない。ただ、間接的かも知れないが、法人・個人の余剰金の運用先として、不正武器取引があるのは確かである。

表14-7 不正資金移動と武器取引

	2003~2012年平均 [億ドル]		
	不正資金移動額	武器輸出額	武器輸入額
	1)	2)	2)
中国	1252	8.68	20.29
ロシア	974	61.17	-
インド	514	0.18	24.34
マレーシア	440	-	-
サウジアラビア	395	-	6.33
ブラジル	309	0.54	1.91
インドネシア	188	0.10	2.49
タイ	172	-	1.14
ナイジェリア	157	-	-

1)「グローバル・タックスと多国籍企業」金子文夫より

2)ストックホルム国際平和研究所

金額は大きくないが、経済規模から見ると多額の不正資金移動があるのが途上国である。ここでは、紛争などで闇の武器取引も多い。タックスヘイブンで資金洗浄して、先進国やロシア、中国から紛争国へ、表に出ない武器輸出がある。その恐るべき実態は『武器ビジネス マネーと戦争の最前線 上・下』に載っている。日本政府が次期主力戦闘機を共同開発しようとしているイギリスの軍事メーカー「BAEシステムズ」は、国内やアフリカや中東各国の政府要人に多額の見返りを支払っている。金額は、民間機が対象だったロッキード事件よりずっと多い。

【著書紹介】

武器取引や軍事産業の実態がわかる著書を紹介します。

『ウルトラ・ダラー』手嶋龍一

北朝鮮の印刷した偽ドルは、ウクライナからミサイルを買う費用にあてるという筋書です。この本は、フィクションをおりませながら、不正資金移動と武器取引を描いています。北朝鮮の偽ドル印刷事件よりも前に出た本なので、予言の書となりました。描いていることの多くは実態を反映していると思え、武器取引の実情がかいまみえます。著者の手嶋氏は、NHKワシントン支局長として、昔ニュースによく出演していました。そのときに手に入れた情報を、提供者が特定できないように小説にしています。

『武器ビジネス 上・下』ファインスタイン, アンドレー

戦前にさかのぼって武器ビジネスの実態にせまっています。著者は、アパルトヘイト廃止後の南アフリカの国會議員で、武器取引を検証する立場でした。裏金の実態を明らかにしようとして任務から降ろされます。その後、イギリスでに移住して南アフリカに武器を売り込んだBAEシステムズなどを追求し、著作活動も行なっています。

ナチスの元将校のつくった会社がドイツで巨大武器メーカーになる話や、イギリスがサウジアラビアに武器を売るために、サッチャー首相がサウジの王室関係者に深くおじぎをして売り込みをかける場面があります。イギリスでは多くの軍事産業が合併して、巨大国策会社のBAEシステムズが誕生しました。イギリスは国内法改正によって、きわどい取引がむずかしくなったので、スイスにダミー会社をつくってそこで手続きをするようにしたなど、具体的な摘発のがれの方法が書いてあります。

『日本の兵器工場』鎌田慧

40年前の本ですが、今に通用する日本の武器生産の実態がよくわかります。三菱重工専務である東条英機のご子息にインタビューする場面は有名です。この本では、私が町角で見かけたことのある工場も、弾薬を造っていることがわかりました。もっとも印象的なことは、防衛庁(当時)は利益率を低めに設定しているので、あまりもうからないということでした。

防衛省になってからもそれは変わらず、発注の少ない年は設備稼働率が下がるので赤字になる可能性があり、近年武器生産をやめる企業があいついでいます。武器産業がもうからないのは、武器生産国で日本だけかも知れません。ぼろもうけしないのは結構なことですが、赤字になることがあるのはいかなものかと思えます。ただ、その前に日本の防衛はどうあるべきかを検討し直す必要があります。

この本が出てから、武器産業の口が重くなって、取材に応じることも少なくなったということです。これは、私も体験しています。アルミ産業を取材した後、同じことを新聞記者やNPOの知り合いが聞こうとしても、答えてくれなくなりました。取材の方法がまずく、電話で聞こうとしたり、広報に尋ねたりするからだ、ということが主な原因だったかも知れませんが。

【参考文献】

『宇宙の地政学 科学者・軍事・武器ビジネス 上・下』

タイソン, ニール・ドグラス、ランゲ, エイヴィス著 原書房 2019年

『工作機械・ロボット産業のエコシステム 日本企業が支える世界の「モノづくり」基盤』

林隆一 晃洋書房 2021年

『日本のものづくりを支えたファナックとインテルの戦略 「工作機械産業」50年の革新史』柴田友厚 光文社新書993
2019年

「グローバル・タックスと多国籍企業」金子文夫

『グローバル・タックスの理論と実践 主権国家体制の限界を超えて』第5章

上村雄彦編著 日本評論社 2019年

『ウルトラ・ダラー』手嶋龍一 小学館文庫 2020年

『武器ビジネス マネーと戦争の最前線 上・下』

ファインスタイン, アンドレー著、村上和久訳 原書房 2015年

『日本の兵器工場』鎌田慧 講談社文庫 1983年

「利潤・余剰金のゆくえを地球規模で追う」桑垣豊 進化経済学会福井大会発表論文 2024年

【サイトの紹介】

「ストックホルム国際平和研究所」 <https://sipri.org/>

年鑑は紙と有料PDF。サイトでは、データベースで情報が手に入るがあまり使いにくい。年鑑の要約を無料のPDFで公開している。武器取引関連は、提供情報の5分の1程度か。

「OECD」主要指標 <https://compareyourcountry.org/key-indicators/jp>

筆者は、2月20日頃、国民経済計算年鑑のPDFを無料で10年分ダウンロードできた。その3日後、20年分がPDFになったが有料ダウンロードに変更。紙の年鑑もちろん有料。データベースもあるがわかりにくい。

「国際通貨基金(IMF)」データ <https://www.imf.org/en/Data>

世界各国の輸出入総額60年以上分をファイル保存した。普通にマウスでなぞっても無数のセルのうち1つのセルの数字しかコピーできない。そこで、GoogleChromeでサイトのページをファイルで保存するとよい。ところが、IMFのデータベースは画面に表示している部分しか保存できない。それでは60年分は、100ファイル以上になる。そこで、表示倍率を最小の10%にして、表示部分を上下にずらして2ファイルで保存した。

財務省の貿易統計サイトでは、日本の貿易相手ごとの各年輸出入額がエクセルでダウンロードできるが、アジアの部分で途中から1列ずれているなどおかしい部分があり、やや信頼性に欠ける。

市民科学研究室の活動は皆様からのご支援で成り立っています。『市民研通信』の記事論文の執筆や発行も同様です。もしこの記事や論文に興味深いと感じていただけるのであれば、ぜひ以下のサイトからワンコイン(100円)でのカンパをお願いします。小さな力が集まって世の中を変えていく確かな力となる—そんな営みの一歩だと思っていただければありがたいです。

[ワンコインカンパ](#)

←ここをクリック(市民研の支払いサイトに繋がります)